

## 平成27年度「山口県産業戦略本部」第1回全体会合

日時：平成27年6月22日（月） 13：30～

場所：県庁4階 共用第1会議室

### 意見交換における本部委員の主な意見

#### □ 計画の推進について

- ・ 2年間の取組で多くの成果が上がっており敬意を表する。
- ・ 港湾整備や人材育成等、頑張っている。
- ・ 観光は、様々な手を打っており、黄金期を迎えている。
- ・ 折り返し点を迎えたが、7～8割は進んでいるように感じる。

#### □ 指標の設定について

- ・ 「やまぐちブランド」などは、件数を指標にしているが、「規模感」がわからない。「どれくらいの投資でどれくらいの成果があった」とわかるように数値化が必要ではないか。
- ・ 経済波及効果を数値として出してほしい。

#### □ 水素等環境関連産業育成・集積戦略について

- ・ 水素ステーションは周南に成功事例をつくり、県下に波及すべき。
- ・ コンビナートの副生水素はカーボンフリーをPRすべき。

#### □ 宿泊者数500万人戦略について

- ・ 外国人観光客のターゲットを絞る時期に来ている。欧米人を中心にいかに山口県に持ってくるか。東京オリンピックに向けて種をまいていくことが必要。
- ・ 国内観光は、維新150年に向けて次なる一手を。政府要望しているが、国立の明治記念館の整備を期待する。
- ・ 朝ドラ誘致などの次なる展開を考える時期が来ている。
- ・ 観光のPRに当たっては、SNSをはじめ、インターネットの活用が必要。特に、影響力のあるブロガーのロコミが効果的。そういう方に来てもらい、書いてもらうようにすると良い。
- ・ クルーズ船は、市民も見に来るので観光効果が高い。

#### □ 産業を支える人づくり戦略について（奨学金）

- ・奨学金制度創設を評価。学生を県内企業に誘導できるかは今後の取組にかかる。インターンシップ、企業体験等をしっかりと。
- ・良い制度なので積極的に活用できるよう、本社人事部に話を通してある。
- ・人材確保と育成が重要。「山口県に行けば育ててもらえる」と企業が思えるような支援制度（補助金等）を組み込んではどうか。
- ・山口県の企業に就職すれば、住み良さ（生活費や環境）で有利ということアピールすべき。

#### □ コンビナート企業間の連携促進について

- ・岩国・大竹地区は、明日23日、設立準備会を予定。保全、設備、用役等を検討していくが、規制緩和が大きなキーワードになると思う。
- ・宇部・山陽小野田地区は、現在、関係企業と準備協議中。保全、安全、人材育成の3部会を考えている。県内には3コンビナートがあるが、「安全教育センター」といったものを全体で共有する発想もあるのではないか。

#### □ その他

- ・インフラ整備を引き続き積極的にお願いしたい。
- ・竹を有効活用することが地方創生につながる。
- ・JAXAバックアップ機能の要望は、山口大学も連携して行いたい。